

2019年9月期
決算説明

株式会社エボラブルアジア
東証第一部: 6191
2019/11/14

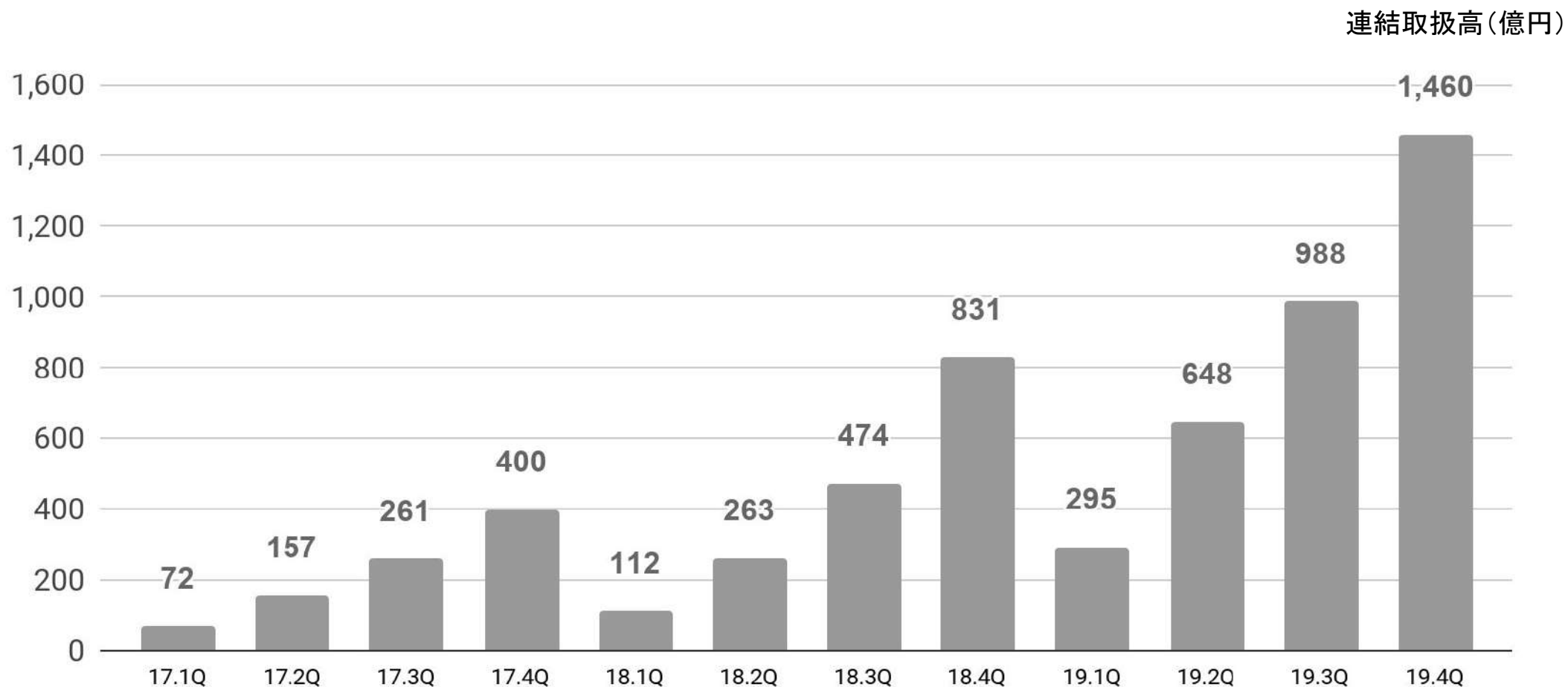


EVOLABLE ASIA

- FY19 取扱高1,460億円大幅増収
- FY20 取扱高1,800億円・営業利益20億円を計画
- IR体制の強化
※FY18説明資料36ページ→FY19説明資料61ページ 資料の充実
- 新中期経営戦略「エアトリ5000」

FY19 決算概要

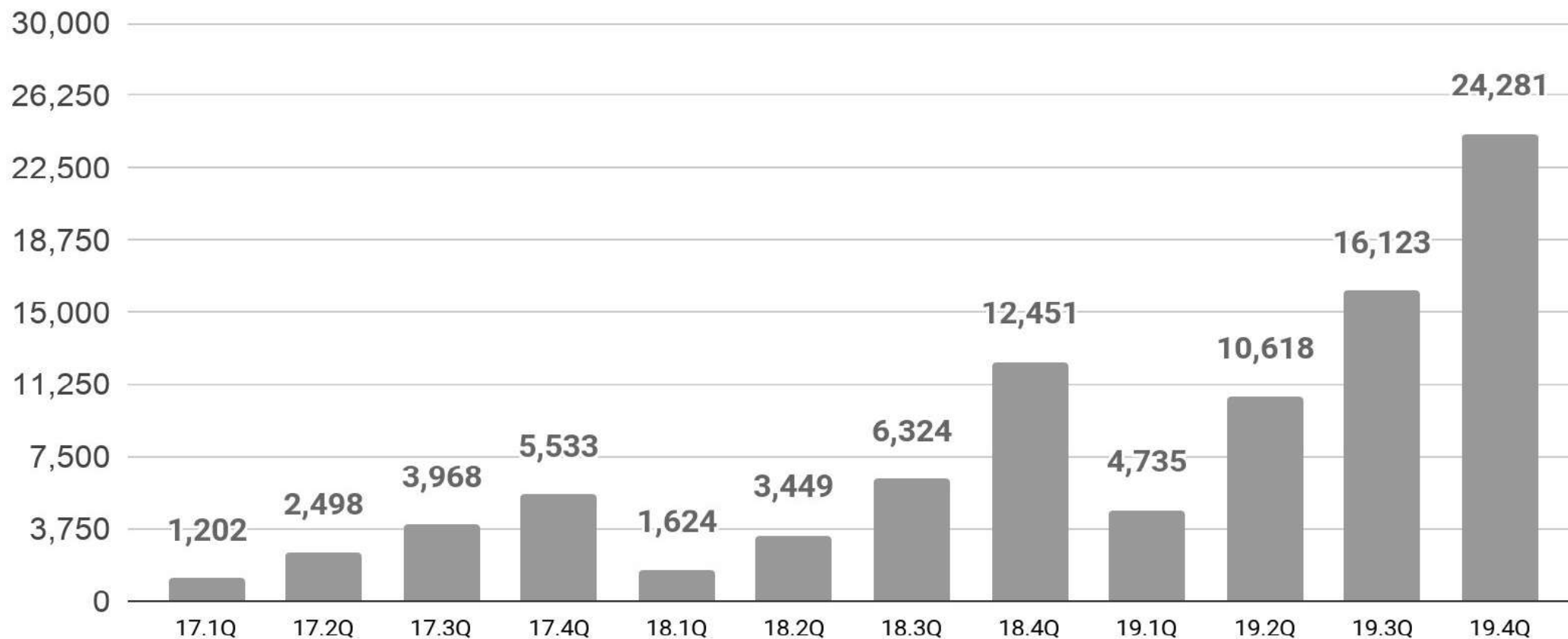
取扱高前期比**175%** 大幅増収



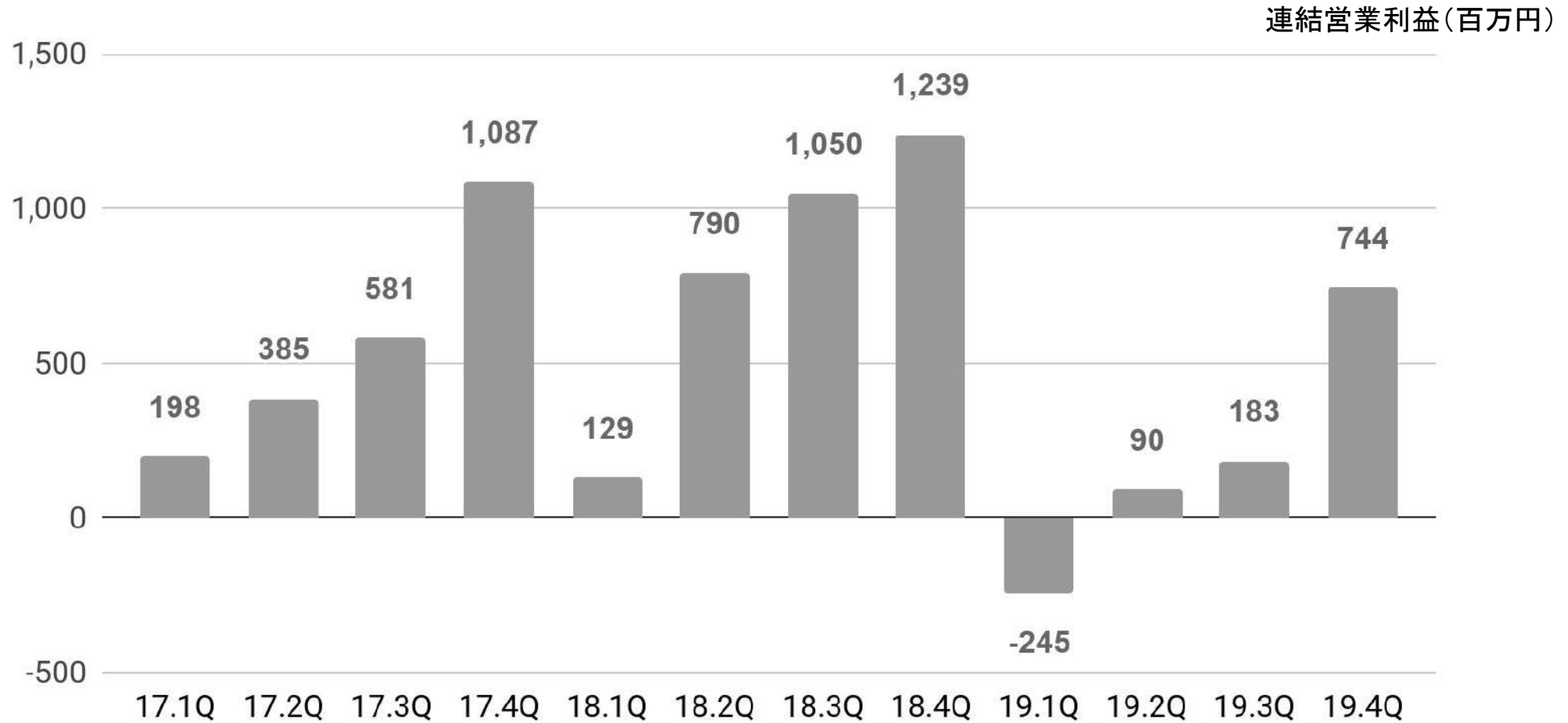
※19.4Qよりキャンセル前取扱高に変更

売上収益前期比**195%** 大幅増収

連結売上収益(百万円)



戦略的投資しつつも利益確保



エアトリプロモーションに積極投資 大幅な増収
～前期比での増益は未達～

(百万円)

	FY18		FY19		前年同期比
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	
取扱高	83,166	—	145,981	—	175%
売上収益	12,451	100.0%	24,281	100.0%	195%
売上総利益	6,861	55.1%	13,036	53.6%	190%
営業利益	1,239	9.9%	744	3.0%	60%
親会社帰属 当期純利益	942	7.5%	708	2.9%	75%

オンライン旅行事業が全体の成長を牽引

(百万円)

		FY18	FY19	増減
オンライン旅行事業	売上収益	10,137	21,480	+11,343
	営業利益	347	1,030	+683
ITオフショア開発事業	売上収益	2,383	3,039	+656
	営業利益	148	157	+9
投資事業	売上収益	161	345	+184
	営業利益	1,305	412	△893

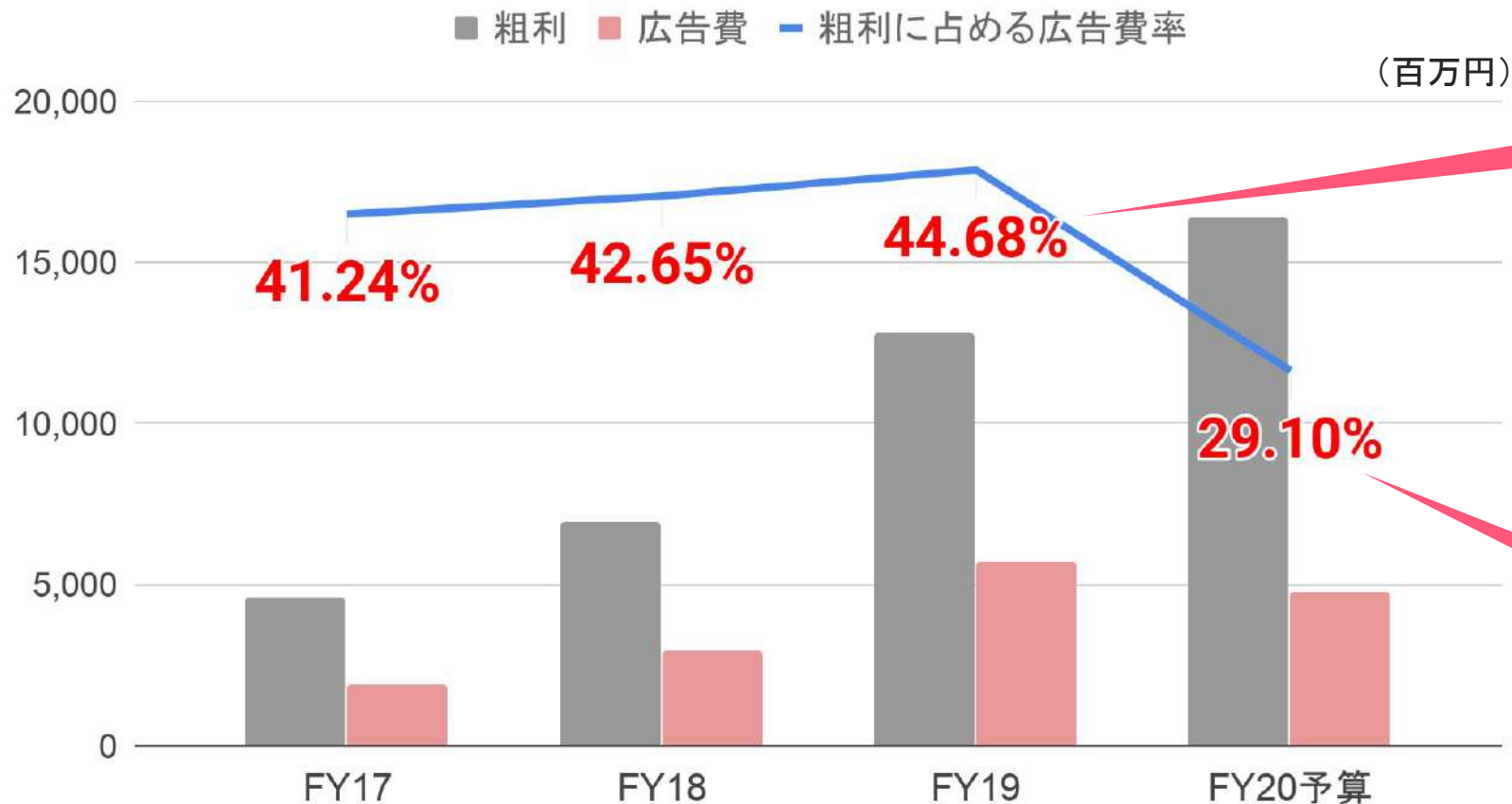
資金調達と利益獲得により自己資本比率改善

(百万円)

	FY18	FY19	増減額
流動資産	15,202	20,142	+4,940
現預金	5,320	8,997	+3,677
営業投資有価証券	3,889	4,664	+775
非流動資産	9,736	11,260	+1,524
総資産	24,939	31,403	+6,464
負債	19,371	21,155	+1,784
有利子負債	10,811	12,631	+1,820
資本合計	5,567	10,247	+4,680
親会社所有者持分	5,188	9,781	+4,593
親会社所有者持分比率	20.8%	31.1%	+10.3%

FY19 アクションの成果

広告投資フェーズから利益回収フェーズへ ～粗利益に対する広告費率を大きく低減～

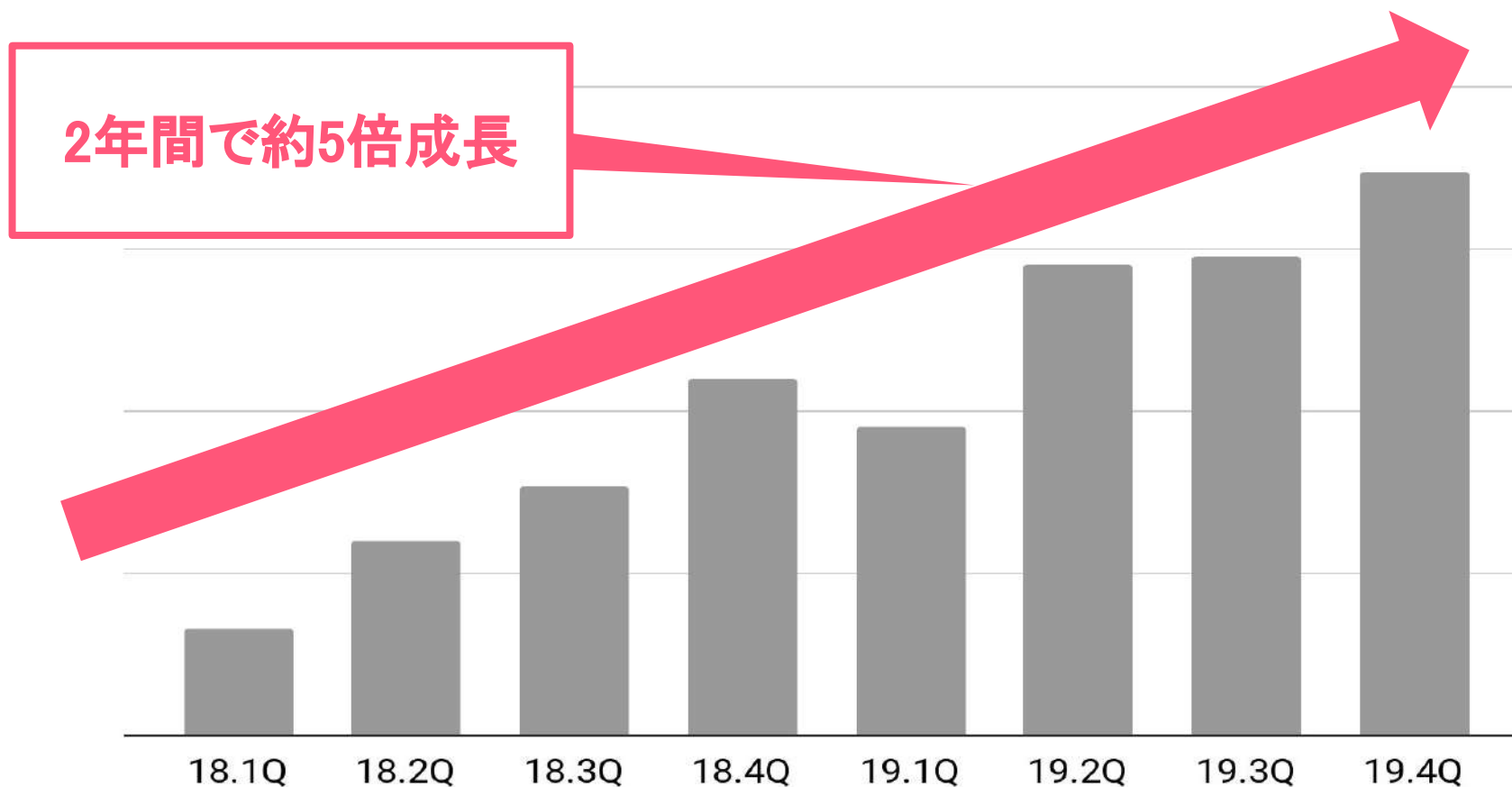


過去最大の広告投下

認知度向上
オーガニック比率向上

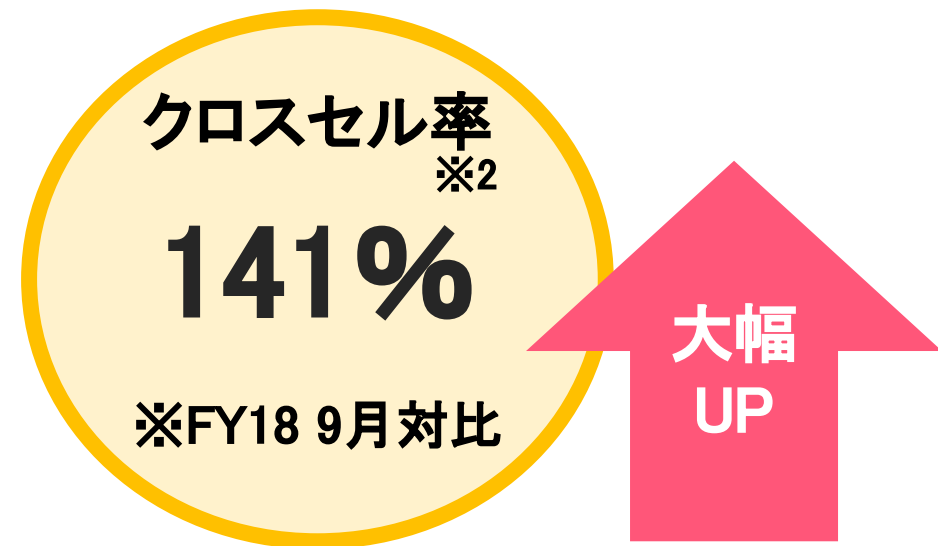
広告費率低下

最重要KPIのオーガニック粗利益 大幅増益



※ 広告やメタサーチを経由しない顧客への販売による粗利益を指す
エアトリキーワードでの検索やアプリなどによる流入によるもの

最重要KPIのCVR・クロスセル率 大幅向上

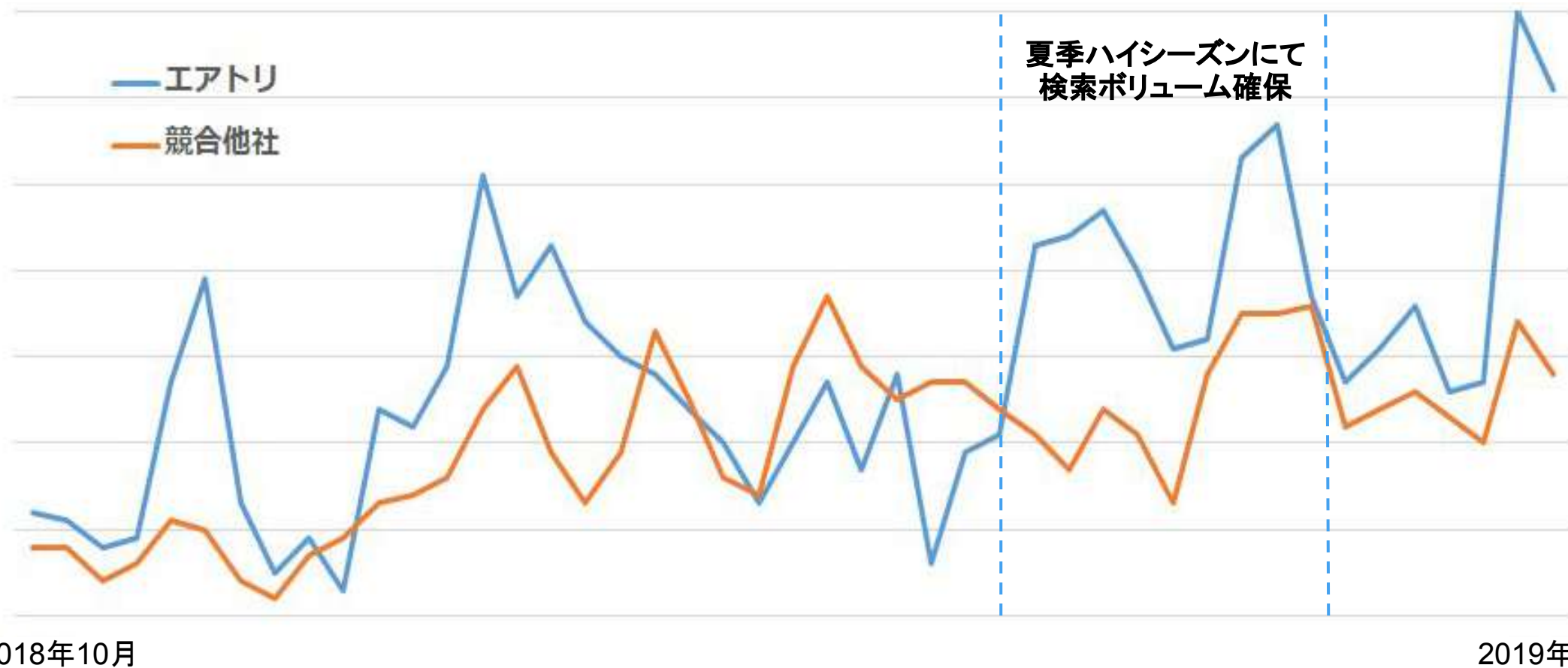


徹底的なサイト改善により、更なる向上を目指す

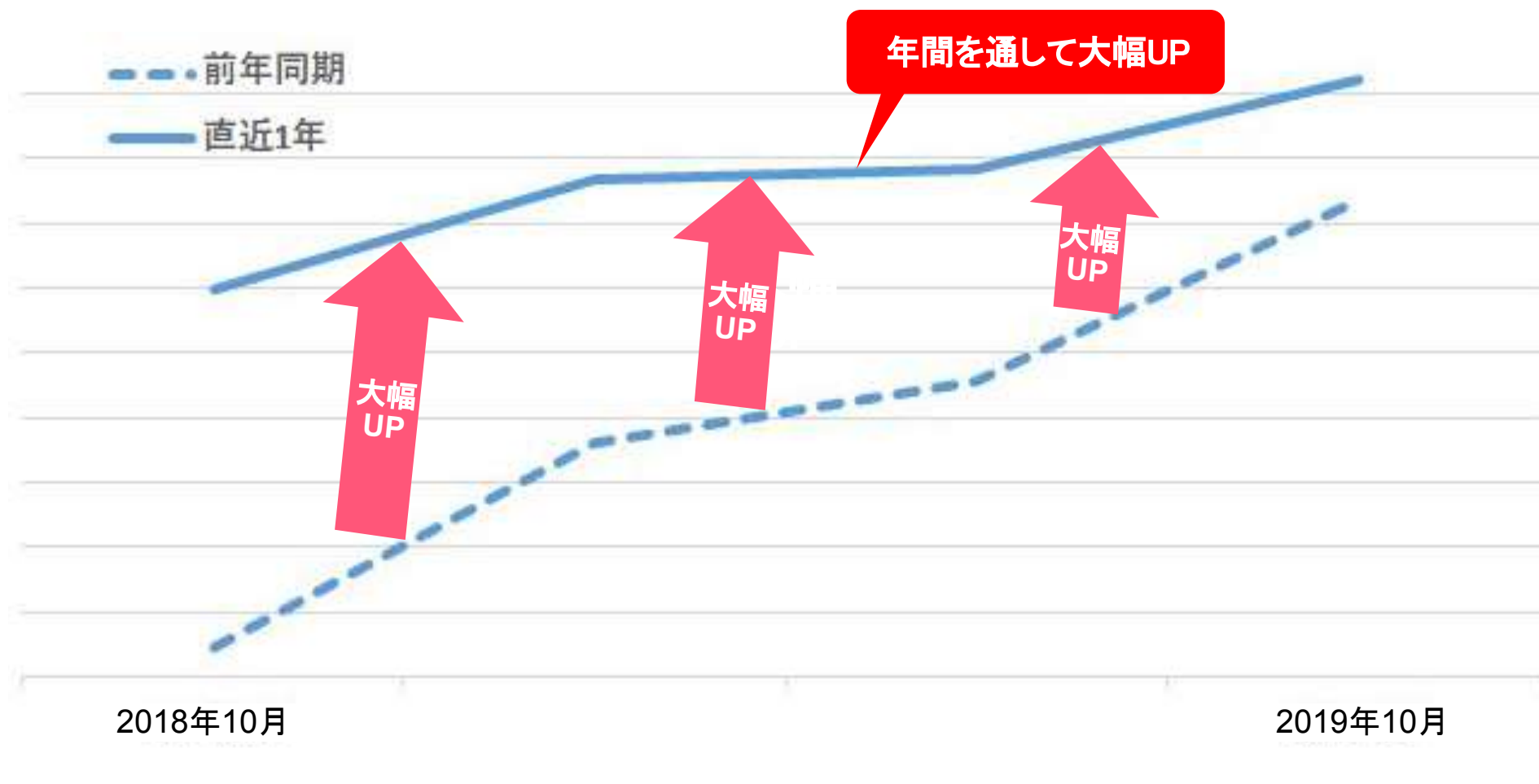
※1 国内・海外の航空券/ホテル/DPを対象に加重平均にて算出

※2 国内・海外のホテル(DPを含む)/レンタカーを対象に加重平均にて算出

認知度向上による検索トレンドの底上げ ～年間を通して競合を大きく上回る～



「エアトリ」流入UU数 年間を通して大幅増加



様々なブランディングマーケティングを実施

FY19施策

FY20施策

本日のリリース

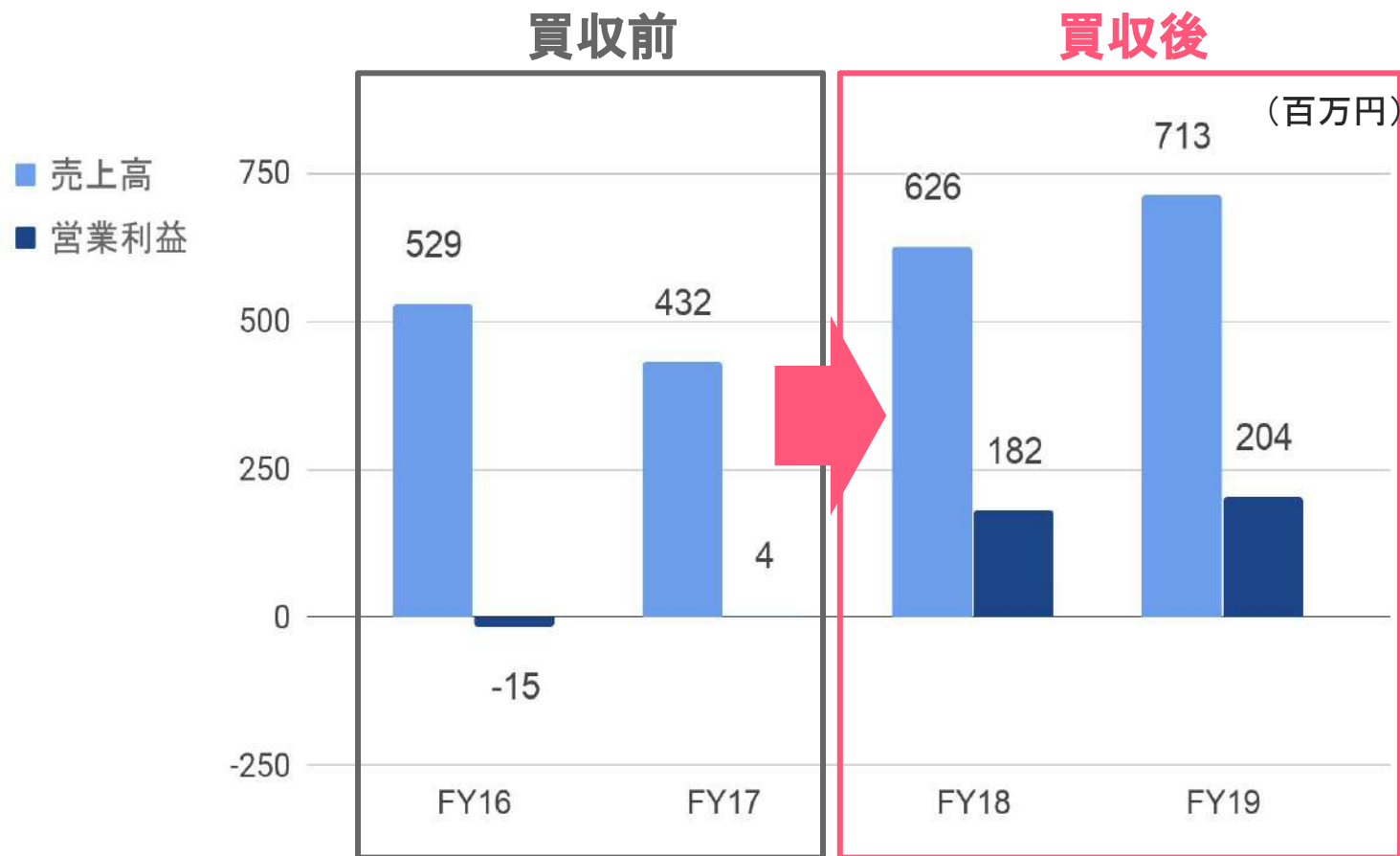
新タグライン「旅行も出張も、もっと便利に」へ変更 ～11/14よりエアトリサービスに最適な新タグラインに～

エアトリ

旅行も出張も、もっと便利に

M&A 及び PMIの成果

会員750万人の顧客基盤を有するメルマガ最大手



メルマガのサブスクリプションモデル

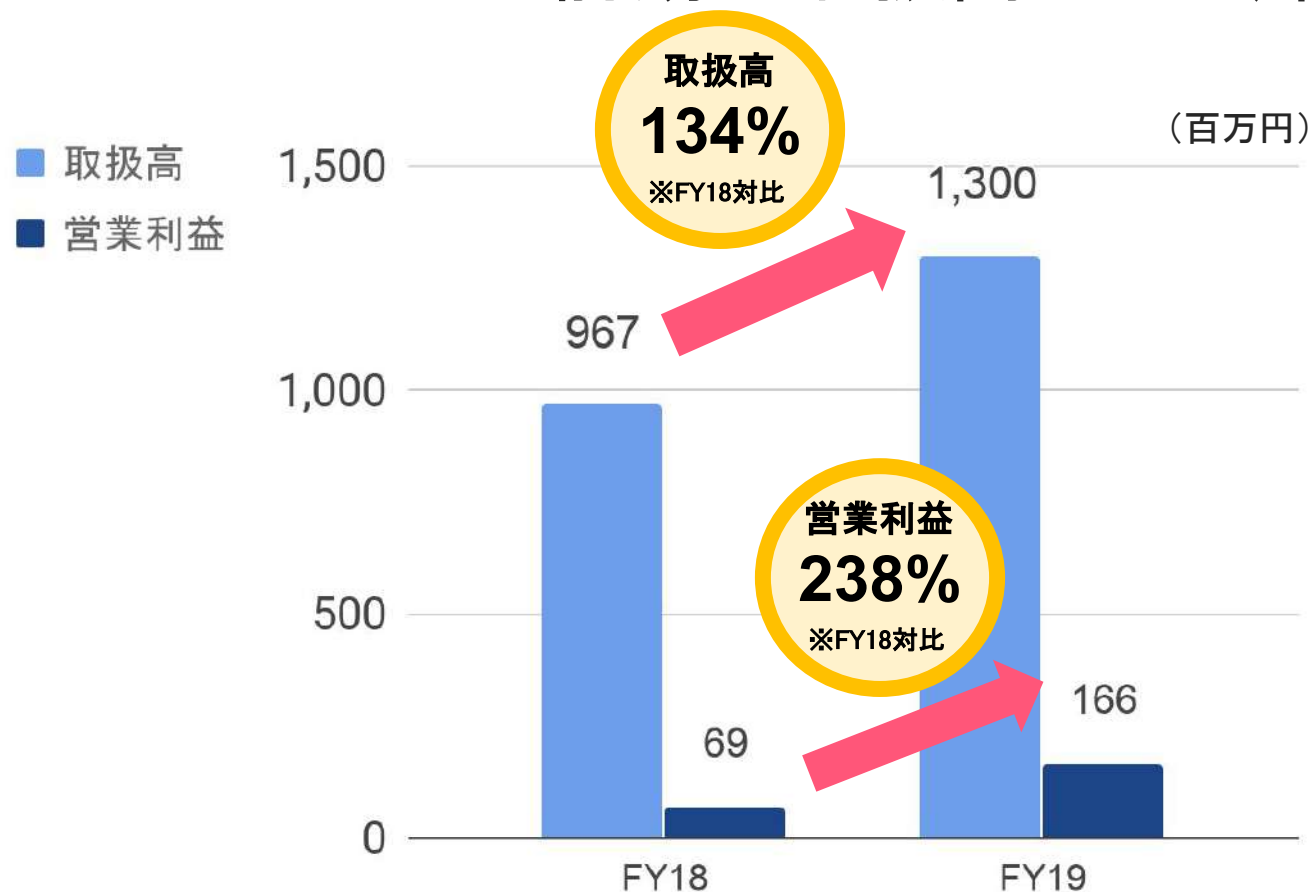
業界最大手のメルマガプラットフォームの会員750万人のストック型ビジネスモデルに対し、専門性の高いメルマガ著者が購読率の高い良質なコンテンツを提供

合計730万UU/月のメディア

メルマガプラットフォームの基盤に加え、月間UU730万の集客力の高いメディアを運営。サービス相互間のシナジーを生み出す。

インバウンド事業 大幅躍進

～前期比取扱高134%、営業利益238%～



欧米顧客向けWi-Fiレンタル事業No.1

各国の市場に合わせたサービスサイトのローカライズを実施し、CVRがFY19 1Qから4Qで15%向上、取扱高は対前年比170%となった。

訪日客向けキャンピングカーレンタルNo.1

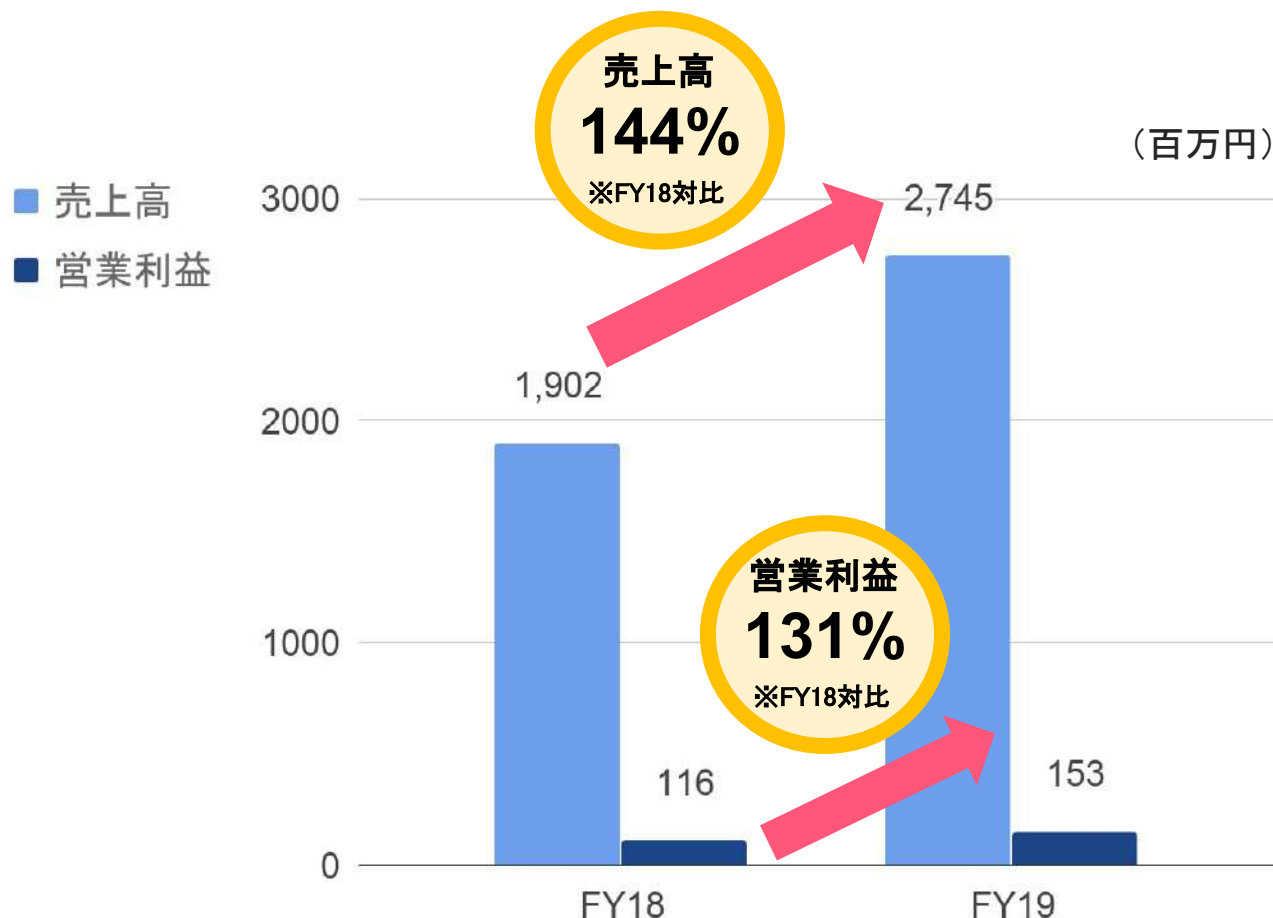
各言語に対するSEO、SEM施策により、セッションがFY19 1Qから4Qで264%増加、取扱高は対前年比225%となった。

メディア事業

自社メディアの総リニューアルにより、SEOの向上が図られ、PVが対前年比313%となった。

東南アジアにおける日系オフショア開発NO.1

～前期比売上高144%、営業利益131%～



ベトナム求人サイトで採用ランキング第1位

ベトナムでシェアNo.1の求人サイト「ベトナムワークス」においてIT部門の採用ランキングで20か月連続で第1位の採用力

ハイブリッド型開発で品質もコストも追及

ベトナムにおける専属開発チームと日本における日本語堪能なベトナム人エンジニアにより、言語の壁を越えた開発環境を提供し、コストパフォーマンスを品質を損なうことなく提供

PMIの成果により買収企業の想定以上の成長を実現 ～のれんの減損リスクなし～



FY19 営業利益337百万円

- エアトリブランドへの統一による収益UP
- 組織統合による効率化
- 開発組織統合によるプロダクト力UP
- 経営の合理化

FY19 営業利益70百万円

- エアトリへの商材提供
- システム開発の支援
- 当社国内ツアー事業とのシナジー
- 経営の合理化

海外ツアー強化としてハワイ旅行専門会社を買収 エアトリプラットフォームの中長距離ツアーの拡大・強化



ハワイ旅行専門で35年の実績

ハワイ專業での豊富な実績。
現地法人による充実の顧客サポート

専属スタッフによる顧客対応

お客様ごとの専属スタッフが仕入れからワンストップで対応

全ツアー カスタマイズ可能

ホテル、フライト、アクティビティなどのカスタマイズ可能

支払方法の多様化へ対応するため “あと払い旅行”サービス「TRAVEL Now」を事業譲受



TRAVEL Now の特徴

- 10万円以下の旅行にすぐ行ける!**
1~2名様プランをご用意。
ボタンひとつで
すぐに旅行に行けます!
- お支払いは2ヶ月後でOK!**
旅行代金のお支払いは
2ヶ月後でOK。
ご都合の良い時にお支払いください。
- 国内も海外も! 65,000種類から選べる**
航空券とホテル、高速・深夜バス
のほか、日帰りでも楽しめる
遊び・体験などご用意しています!

サービスの特徴

- ①10万円以下の旅行にすぐ行ける
- ②支払いは2ヵ月後でOK
- ③国内国外含む約65,000種類の旅行商品を完備

業績予想 及び FY20成長戦略

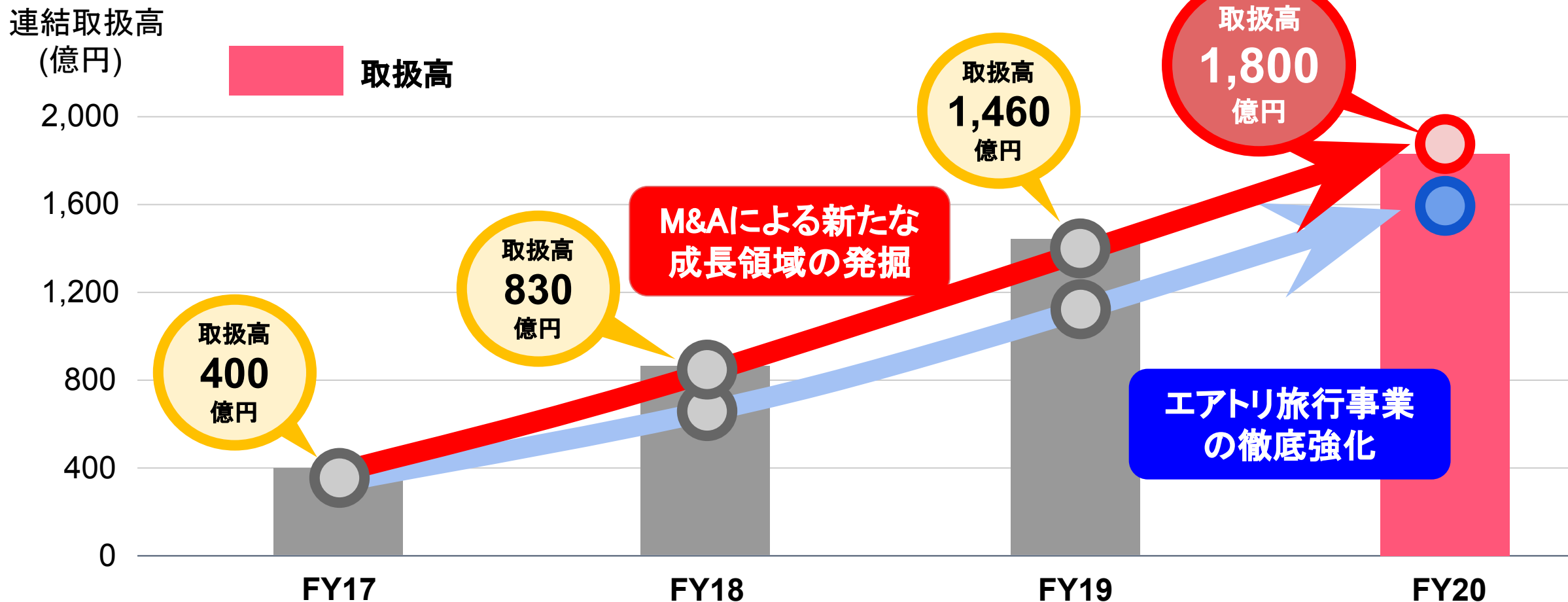
取扱高1,800億円、営業利益20億円を計画

～投資回収フェーズとなり営業利益大幅増加～

(百万円)

	FY17	FY18	FY19	FY20計画
取扱高	40,001	83,166	145,981	180,000
売上高	5,533	12,451	24,281	38,000
営業利益	1,088	1,239	744	2,000
純利益	708	942	708	1,300
配当	7円	10円	10円	13円

FY20成長戦略 取扱高1,800億円を目指す



FY20成長戦略における5つの新事業ドメイン



各事業ドメインにおけるシナジー効果の最大化

エアトリ旅行

事業

総合旅行プラットフォーム「エアトリ」を中心とした旅行コンテンツの提供

エアトリ

ライフイノベーション

事業

お客様の生活をあらゆるシーンでより便利にするサービスの提供



訪日旅行

事業

インバウンド需要への旅行関連サービスの提供



ITオフショア開発

事業

オフショアでの高品質なITハイブリッド開発の提供



投資

事業

成長企業への投資を通じて投資先企業との協業等によるシナジーの追求

FY20成長戦略のアクションプラン

エアトリ 旅行事業の 徹底強化	プロダクト	・航空券単品中心のラインナップから、航空券+ホテル(エアトリプラス)中心へのシフトで次のステージへ飛躍的成長を目指す
	マーケティング	・新タグライン変更等の「エアトリ」ブランディングで認知度を向上させる ・粗利益に占める広告比率を抑え、効率的な集客を実現する
	テクノロジー	・ITオフショア開発による高品質かつスピード感のある開発力を提供する ・上流から実装まで一気通貫したサービスで、さらに事業規模を拡大する
新たな成長 領域への発掘	M&A	・M&A実施後の主要3子会社(まぐまぐ/IPC/HT)はIPO準備を推進する ・新たな成長領域への積極的な投資により、非連続的な成長を実現する
	バリューアップ	・スタートアップやベンチャー企業等への投資による利益を創出する ・成長領域を見出し、事業価値を向上させつつ、次なる収益の柱を確立する

経営陣の職掌変更により、盤石な経営基盤を確立

氏名	新職掌	旧職掌
吉村 英毅	取締役 CGO (Chief Growth Officer)	代表取締役社長
柴田 裕亮	代表取締役社長 兼 CFO	代表取締役 CFO
二井矢 祥	取締役 CSO (Chief Strategy Officer)	執行役員 CSO
田村 諭史	取締役	執行役員
酒井 和真	取締役	執行役員

終わりになき成長を続ける経営執行体制へ

取締役会長 大石 崇徳	代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕亮	取締役CGO 吉村 英毅
----------------	------------------------	-----------------

取締役CMO 松濤 徹	取締役COO 王 伸	取締役CSO 二井矢 祥
----------------	---------------	-----------------

取締役 秋山 匡秀	取締役 増田 武	取締役 田村 諭史	取締役 酒井 和真
--------------	-------------	--------------	--------------

執行役員 中崎 秀一	執行役員 神田 貴宏	執行役員 豊田 裕文	執行役員 原 基記	執行役員 矢野 光児
---------------	---------------	---------------	--------------	---------------

※上記は常勤の経営執行メンバーのみを記載しており、社外取締役及び監査役を加えたガバナンス体制となっております。

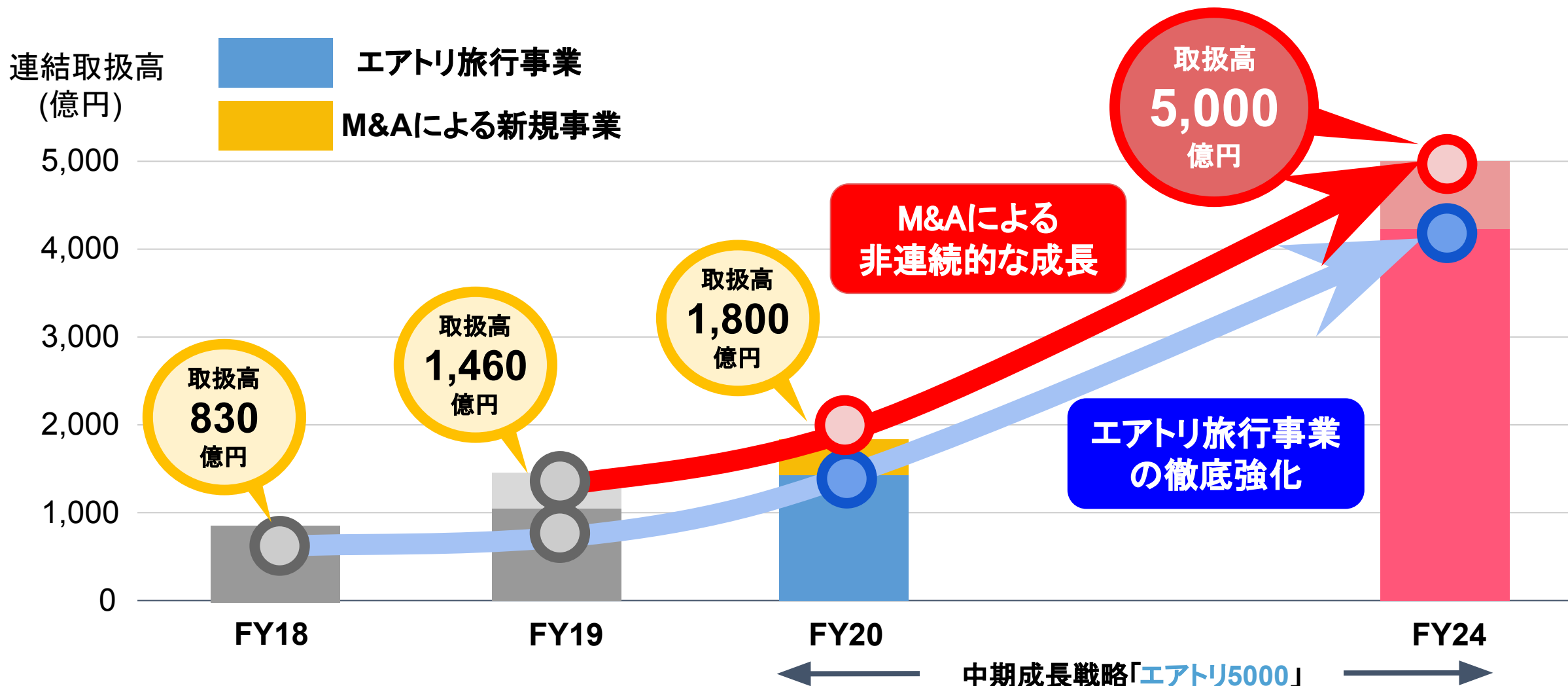
中期成長戦略

新中期成長戦略「エアトリ5000」を策定

エアトリ5000

5年で取扱高**5,000億円**達成に向けて、終わりのなき成長を目指す

飛躍的な成長により5年で連結取扱高5,000億円を目指す



「エアトリ5000」の成長戦略

エアトリ
旅行事業の
徹底強化

新たな
成長領域の
発掘

確固たる
経営基盤の
強化

三位一体で大幅に収益を拡大させる

——エアトリ旅行事業の徹底強化——

- 「エアトリ」プラットフォームにおける顧客基盤拡大、販売チャネル強化、事業ドメイン拡張により、更に強固な収益基盤を確立する

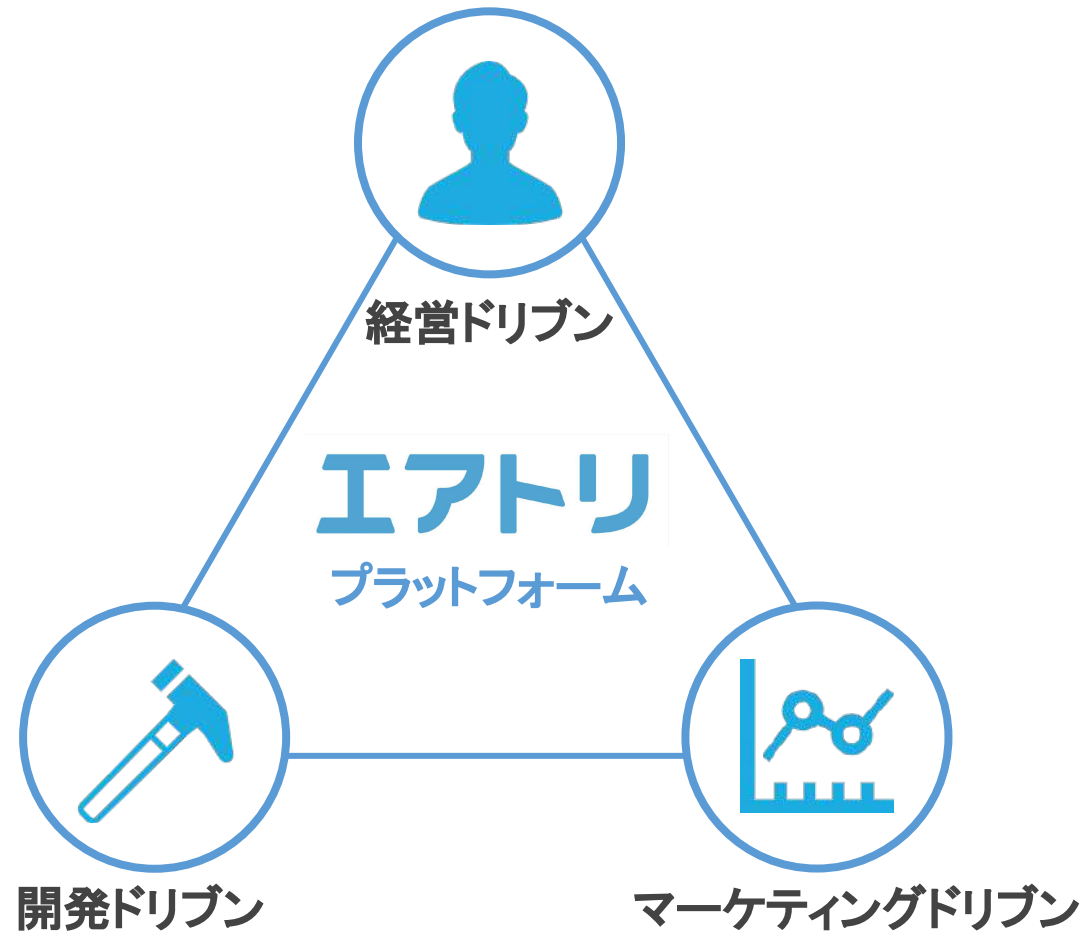
——新たな成長領域の発掘——

- ニッチ市場を含めた新規事業領域やM&Aターゲットの目利き力により、新たな成長領域を発掘する
- 事業成長・PMIの成功を継続的に実現するノウハウにより、主要3子会社(まぐまぐ、IPC、HT)の持続的成長を実現する

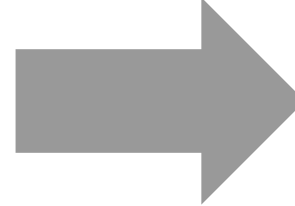
——確固たる経営基盤の強化——

- エアトリ旅行事業および新たな成長領域の発掘を、連続的に「即対応・即実行・スピード」で実現する経営陣の経営執行能力を最大限に発揮できる経営執行体制に刷新する

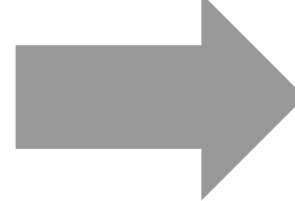
開発⇔マーケティング⇔経営陣の総合力で 買収企業とのシナジーを加速



商材拡充



販路拡大

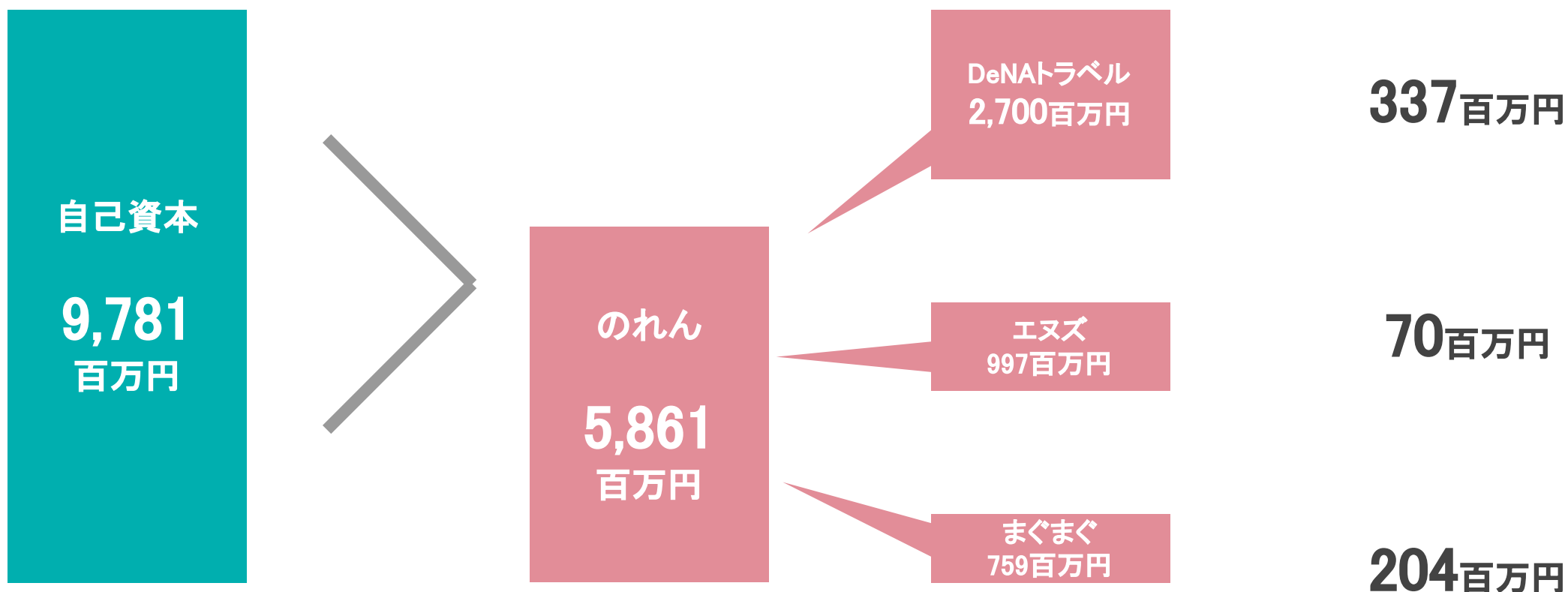


M&Aターゲット



自己資本内での投資により、着実な事業規模拡大へ ～既存子会社も減損リスクなし～

FY19営業利益



- FY19 取扱高1,460億円大幅増収
- FY20 取扱高1,800億円・営業利益20億円を計画
- IR体制の強化
※FY18説明資料36ページ→FY19説明資料61ページ 資料の充実
- 新中期経営戦略「エアトリ5000」

事業進捗

片道+ホテル販売開始

さらに便利に、自由自在に選べる



片道の航空券とホテルのみで予約が可能

UIのリニューアル、出張検索の追加 ～CVRが第3Q比+53%向上～



テレビCMやバナー広告にてエアトリプラスの訴求実施 ～ユニークユーザー数が第3四半期比+44%の増加～



航空券予約導線でのホテル同時購入機能をスタート ～FY19 1Qから4Qで取扱高+650%・CVR+260%の大幅成長～

FY19 国内ホテルの取扱高・CVR推移



4Qの成長概要

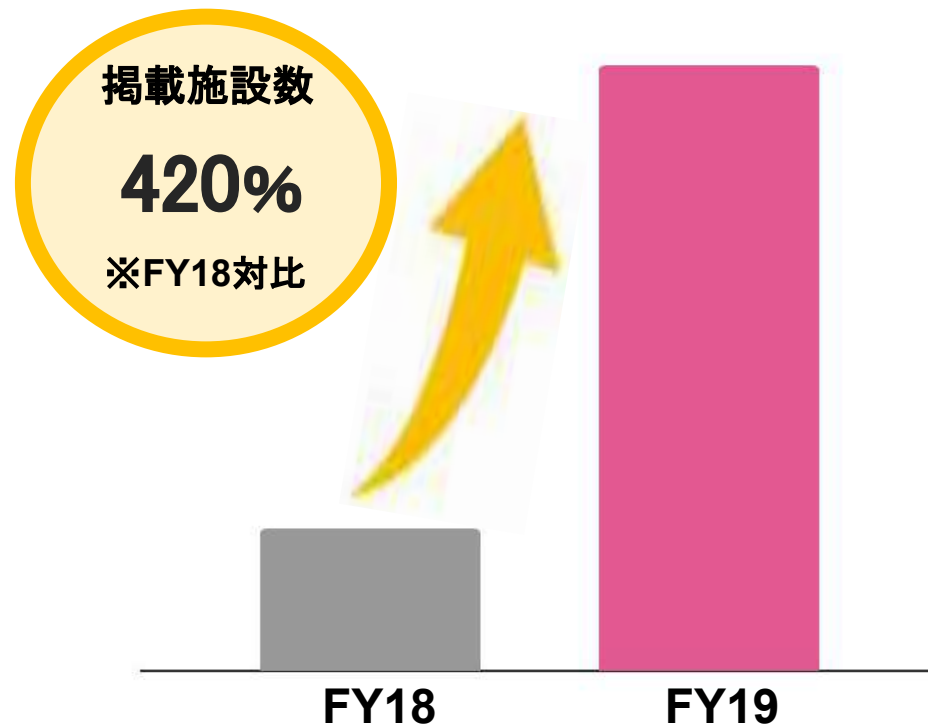
【取扱高の向上】
・サイトのUI・UX改善
や航空券+ホテルの同時
購入機能により大幅成長

【CVRの向上】
・航空券+ホテルなどの
クロスセル施策により大
幅成長

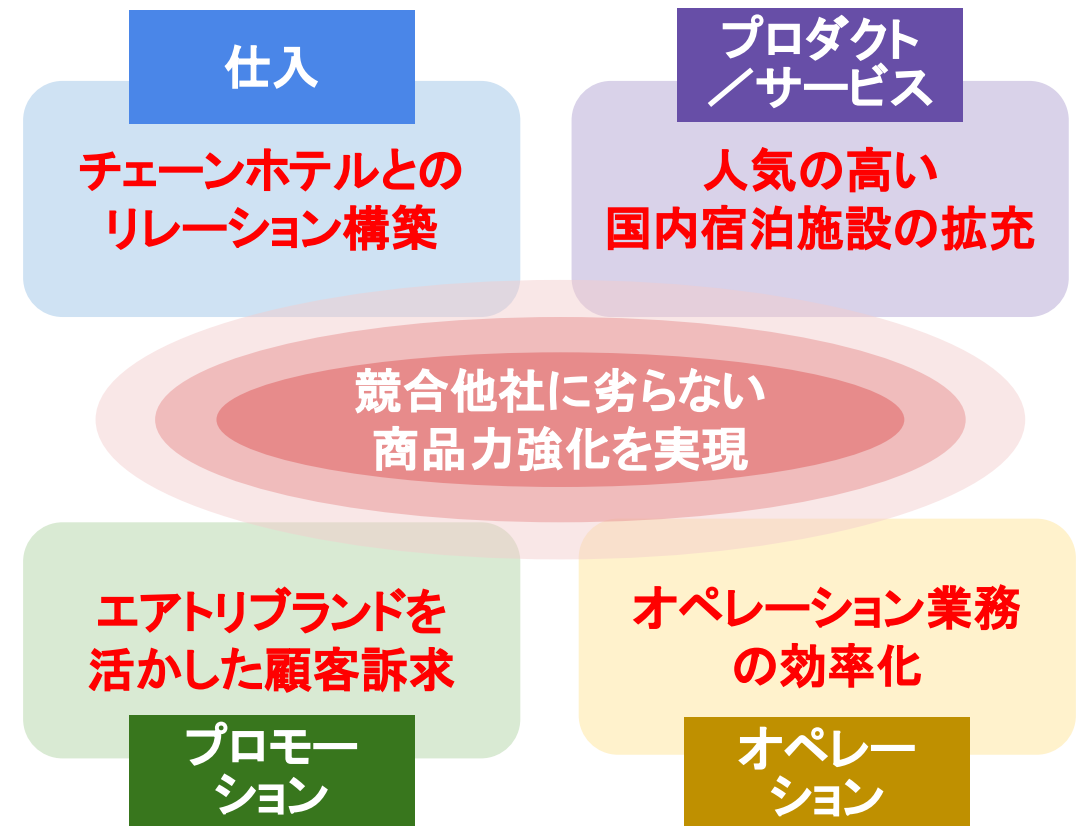
複数の大手チェーンホテルとの直接契約を推進

～エアトリ国内ホテルの掲載宿泊施設数 前期比**420%**の大幅増加～

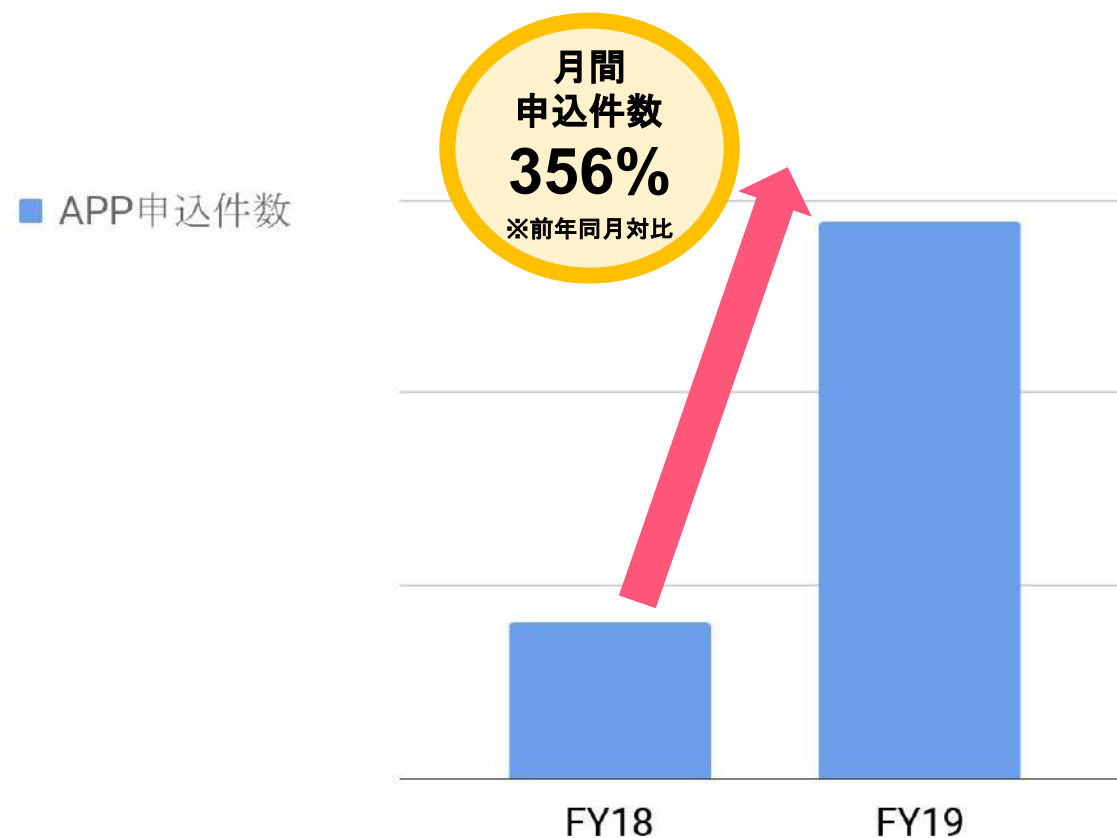
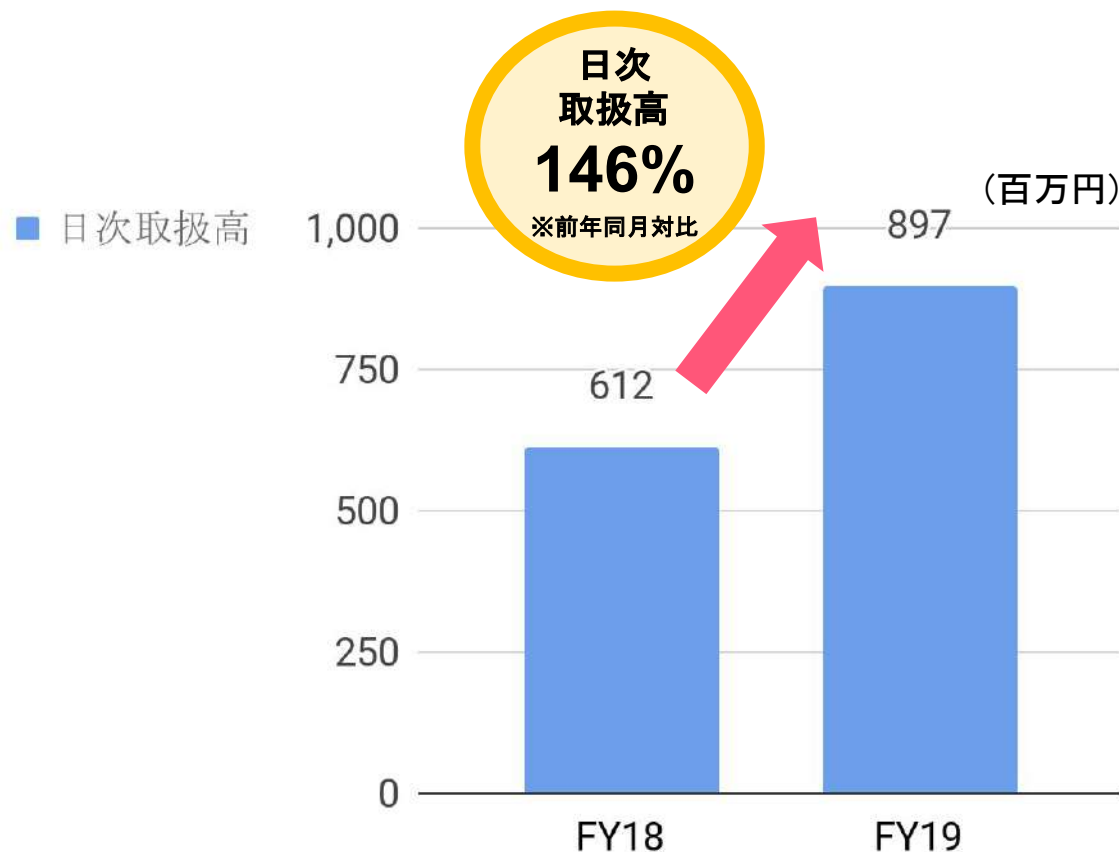
掲載宿泊施設数推移



商品力強化の実現



日次取扱高 最高額を記録 前年比146% アプリ経由申込件数 前年同月対比356%



便利な新機能の追加

新機能1:「周遊」

同一予約で最大4区間までの予約が可能に

新機能2:「amazon pay」「モノ払い」

新たに2つの決済方法を導入し計6種類に



他社との提携により新たな企画旅行の実施

FC琉球ホームゲーム 観戦ツアー

川村学園女子大学×SPRING^(春秋航空) ×ルスツリゾート 産学プロジェクト



JAL/JTA & JETSTARで行く! FC琉球 × エアトリ

ツアー限定
スペシャル
特典有り!!

FC RYUKYU
Since 2003

**FC琉球 プロサッカーJリーグ公式戦
ホームゲーム観戦ツアーin沖縄**

期間: 2019/10/26 (土) 出発・10/28 (月) or 10/29 (火) 帰着



川村学園 × ルスツリゾート × SPRING JAPAN × エアトリ

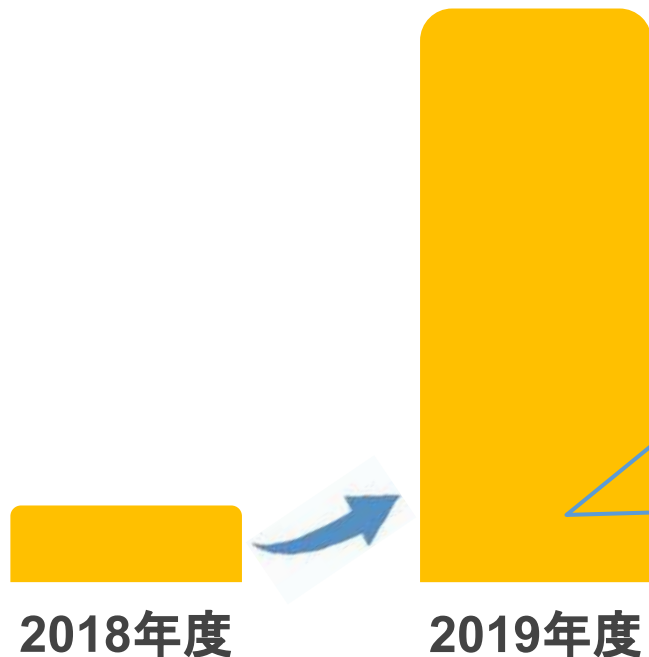
成田⇒北海道
SPRINGで行く!
**格安ルスツ・
札幌の旅**

見て・食べて・遊んで、
秋の北海道魅力発掘ツアー

9/1~10/26 出発

現地で体験済み!
わたしたちが
内容も価格も
自信を持って
オススメです!

取扱会社増、割引プランの販売により 販売実績 前年対比約**10倍**に増加!!



4Qの成長概要

【取扱会社増加】

新規**4社**追加、**全12社**から最安値検索が可能に



【割引率変更】

最大50%OFF ⇒ **69%OFF**



「エアトリ」会員数115%成長、45万会員UP！

■TBS番組での会員登録キャンペーン



■CM・広告などによる認知度向上



※期間:2019年4月~10月 エボラブルアジア会員とエアトリ会員の合計会員数

販促プロモーション

タイアップ内容

- ・ランディングページ制作
- ・バナー掲載
- ・独占メールマガジン
- ・SNS拡散
(リツイートキャンペーン)
- ・アンケートキャンペーン

まぐまぐ(TRiP EDITOR)にて
バナー掲載・メールマガジン配信



「エアトリ」サイトをもっと便利に！お得に！

選べる！支払方法

- ✓ クレジットカードや事前登録など不要！
- ✓ 翌月まとめてお支払い可能。分割払いもOK！



paidy払い導入

商品バリエーション強化

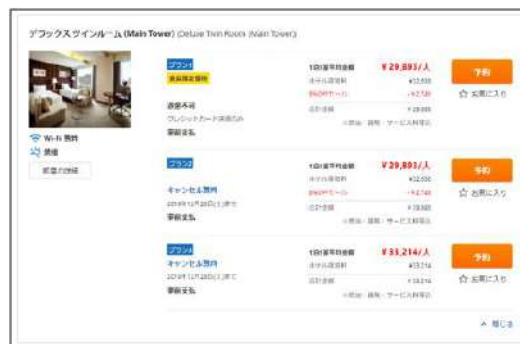
- ✓ 他では満席なのにエアトリなら取れる！
- ✓ 繁忙期でも、直前の出発でもエアトリなら安い！



プレミアムエコノミー
販売開始

サイト改善を高速化

- ✓ 毎月複数の改善をローンチ！



ホテルプラン
選択ページ改善

サービス強化

- ✓ コールセンターで電子ビザ・日程変更・ホテル代理予約対応数増！
- ✓ サイトでオプションを選びやすく！



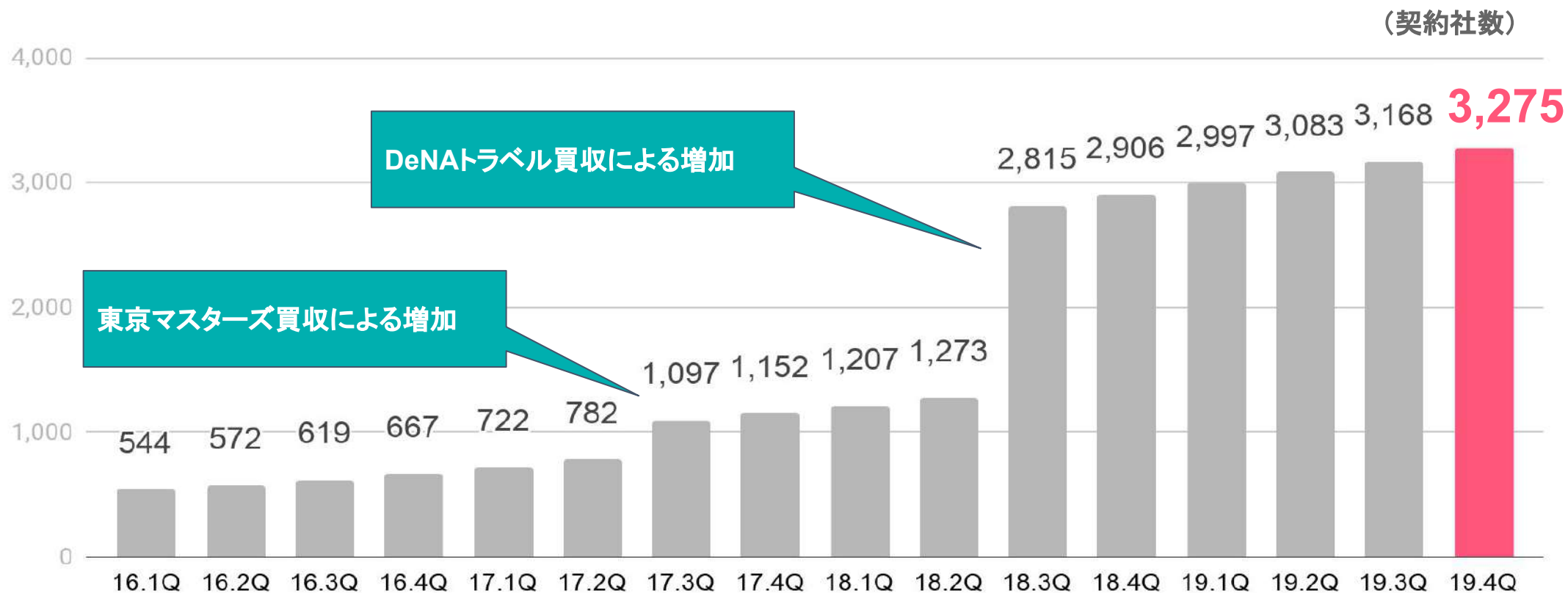
エアトリの新メニュー 人気の高い「沖縄ツアー」「ハワイツアー」を追加予定



※サイトイメージ



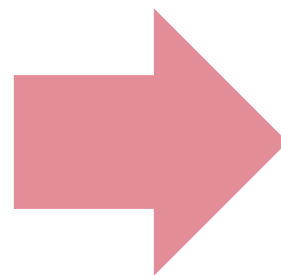
BTMクライアント数 堅調に推移 3,200社超に



エンジニアを増員し「エアトリ」の開発体制強化



133名
2018.9



195名
2019.9

投資育成を強化 62社総投資額累計22億円

※2019年11月時点



第4号IPO案件としてAI CROSS株式上場 ～投資先IPO案件の増加ペース好調～



投資先IPO

2018/3

2018/12

2019/6

2019/10

新メディアをリリース

話を聞いてくれるだれかが、ここにいる。ひとりひとりの多様な悩みに専門家たちが寄り添い共感する、新しいWebメディア『by them(バイゼム)』8月23日リリース
悩みを中心とした新しいジャンルのカテゴリに挑戦し、新しいユーザーの拡大を目指す



訪日向け民泊運用代行領域において市場を牽引



Airbnb Japanの公式パートナーとしてインバウンドに特化した
物件ホストへのコンサルテーション業務を拡大
平均稼働率が市場平均**+25%**を達成



EVOLABLE ASIA

- ・本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ・当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ・本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。